②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額　—円

546,972,734円

2．運営費交付金収益（臨時利益）

国立大学法人会計基準第78第３項の規定に基づき、運営費交付金債務の残高を全額収益に振り替えた額です。

Ⅲ．キャッシュ・フロー計算書関係

1．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	9,591,267,606円
定期預金	△210,000,000円
資金期末残高	9,381,267,606円

2．重要な非資金取引

⑴　現物寄附の受入による資産の取得

機械装置	1,288,363円
工具器具備品	119,931,135円
図書	15,177,291円
合計	136,396,789円

⑵　ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品	1,829,303,245円
合計	1,829,303,245円

Ⅳ．国立大学法人等業務実施コスト計算書関係

引当外退職給付増加見積額のうち、国又は地方公共団体からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額は、86,361,238円です。

Ⅴ．減損会計関係

該当事項はありません。

Ⅵ．重要な債務負担行為

平成28年３月31日現在の重要な債務負担行為は以下のとおりです。　（単位：円）

件　　名	契　約　額	うち翌期以降支払額
山口大学（医病）診療棟・病棟新営工事	9,828,000,000	8,995,666,680
山口大学（医病）診療棟・病棟新営機械設備工事	3,020,760,000	3,020,760,000
山口大学（医病）診療棟・病棟新営電気設備工事	1,695,600,000	1,695,600,000
山口大学（医病）保育所新営その他工事	312,033,600	191,937,600
山口大学（吉田）総合研究棟（国際総合科学部）改修その他工事	115,922,000	115,922,000

Ⅶ．金融商品に関する事項

1．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入れ及びＡ格以上の金融機関からの借入れに限定しております。

資金運用にあたっては、国立大学法人法第35条において準用する独立行政法人通則法第47条の規定に基づき公債のみを保有しており、株式等は保有しておりません。また、未収附属病院収入は、医学部附属病院未収債権取扱要項に沿ってリスク管理を行っております。

国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院及び寄宿舎の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

2．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差　額
⑴　投資有価証券	199,279,175	214,180,000	14,900,825
満期保有目的債券	199,279,175	214,180,000	14,900,825
⑵　現金及び預金	9,591,267,606	9,591,267,606	—
⑶　未収附属病院収入	4,281,602,158	4,265,340,041	—
徴収不能引当金（＊２）	△　16,262,117		
⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金（＊３）	(2,610,657,572)	(2,816,150,877)	△　205,493,305
⑸　長期借入金（＊４）	(5,878,522,517)	(5,980,613,442)	△　102,090,925
⑹　未払金（＊５）	(7,868,801,640)	(7,983,421,003)	△　114,619,363

（＊１）負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（＊２）未収附属病院収入に対して計上している徴収不能引当金を控除しております。

（＊３）国立大学財務・経営センター債務負担金については、一年以内返済予定国立大学財務・経営センター債務負担金を含んでおります。

（＊４）長期借入金には、一年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

（＊５）未払金には、長期未払金を含んでおります。

㈱　金融商品の時価の算定方法

⑴　投資有価証券

これらの時価については取引金融機関から提示された価格によっております。

⑵　現金及び預金、並びに⑶　未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。なお、未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、担保又は保証による回収見込額等により、時価を算定しています。

⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金、並びに⑸　長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

⑹　未払金

短期間で決済されるものについては、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。前記以外のものについては、支払期間及び信用リスクを加味した利率で割り引いて算定する方法により算定しております。